

## 再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

<b>事業名</b> 一般国道163号 <small>せいしかかくふく</small> 精華拡幅	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 近畿地方整備局
<b>起終点</b> 自：京都府相楽郡精華町柘榴 至：京都府木津川市相楽		<b>延長</b> 4.6km
<b>事業概要</b> 一般国道163号は、大阪府大阪市を起点に奈良県北部、京都府南部を横断し、三重県津市に至る主要幹線道路である。 精華拡幅は、一般国道163号の精華町から木津川市にかけての交通混雑を緩和し交通の安全を確保するとともに、関西文化学術研究都市へのアクセス性の向上や地域間交流の活性化を目的とした事業である。		
H2年度事業化	S56年度都市計画決定 (S57年度、H17年度変更)	H12年度用地着手
H-年度工事着手	H-年度工事着手	
全体事業費	約224億円	事業進捗率
計画交通量	25,300台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 2.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 172/190億円 事業費：156/174億円 維持管理費：16/16億円
感度分析の結果	【事業全体】交通量：B/C=1.5~2.3(交通量±10%) 事業費：B/C=1.7~2.1(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.8~1.9(事業期間±20%)	【残事業】交通量：B/C=1.7~2.5(交通量±10%) 事業費：B/C=1.9~2.3(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.0~2.1(事業期間±20%)
<b>事業の効果等</b> ①交通混雑の緩和 ・一般国道163号では交通容量が超過しており、整備により交通円滑化が期待。 ②交通安全の確保 ・一般国道163号では、歩道未整備区間が約2割あり死傷事故率が高い交差点が存在するが、整備により歩道設置及び走行性向上によって交通安全確保が期待。 ③地域間交流の活発化 ・周囲の大学等の研究施設、大型商業施設等へのアクセス性も向上し、大阪都心部と京都府南部の地域交流の活性化及び時間短縮の効果が期待。精華拡幅を含む学研都市連絡道路の整備により第二京阪道路へのアクセスが向上し、川ノ尻交差点～寝屋川南ICの所要時間が短縮。 (約40分→約24分：約16分短縮) ④空港へのアクセス向上 ・木津川市～関西国際空港の所要時間が短縮。 (91分→75分：16分短縮(学研都市連絡道路等の効果を含む)) ⑤港湾へのアクセス向上 ・木津川市～大阪港の所要時間が短縮。 (86分→69分：17分短縮(学研都市連絡道路等の効果を含む))		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地域から頂いた主な意見等： ・関西文化学術研究都市建設推進協議会（S58.3設立、関西経済連合会会長、京都府知事、大阪府知事、奈良県知事、京都商工会議所会頭、大阪商工会議所会頭、奈良県商工会議所会頭、関西文化学術研究都市推進機構理事長で構成）より早期完成の要望を受けている。 ・国道163号整備促進期成同盟会（S63.5設立、木津川市長、生駒市長、四条畷市長、精華町長で構成）より早期完成の要望を受けている。 ・国道163号整備促進協議会（H12.12設立、木津川市長、笠置町長、和束町長、精華町長、南山城村長より構成）より早期完成の要望を受けている。		

京都府知事からの意見：

- ・一般国道163号精華拡幅は、交通混雑の緩和、交通安全の確保、さらには広域交流拠点との連結による地域間交流の促進が期待されており、対応方針（原案）のとおり、引き続き事業を推進し、早期の完成をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「国道163号精華拡幅」の再評価は、事業評価監視委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり継続でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線の精華町、木津川市では、人口や自動車保有台数が増加傾向。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成2年度に事業化、用地進捗率54%、事業進捗率12%（平成27年3月末時点）

事業の進捗が順調ではない理由、今後の事業の見直し等

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業の実施にあたり、新技術・新工法の活用などによりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

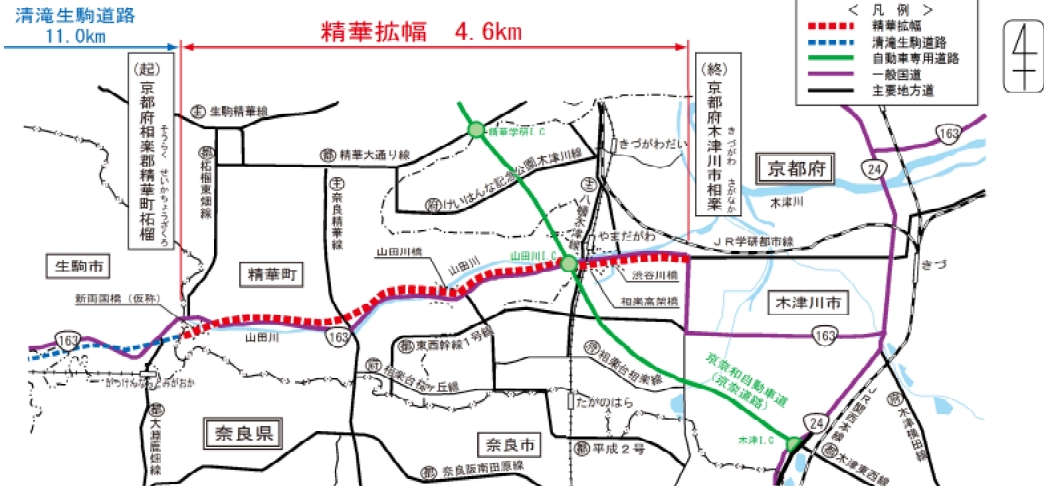
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要

概要図



位置図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。